



北条中 学校だより  
令和5年度 第9号

よし かげ  
**芳 風**

校 訓：質実 自治 奉仕  
教育目標：自由の相互承認  
わたしの自由も大切にする  
あなたの自由も大切にする

保護者配付 令和5年12月21日  
地域回覧 令和6年 1月 5日

## 令和6年度 北条中学校玲瓏会（生徒会）役員選挙

12月5日（火）令和6年度の玲瓏会（生徒会）役員を決めるための立会演説会を行い、引き続き投票が行われました。立会演説会では、まず、責任者が立候補者の推薦理由を述べた後、続いて立候補者が、自分が描く「生徒会像」「北条中像」を述べました。選挙公報内の6人の候補者の公約には、「団結力のある北条中にする」「生徒が活発に意見交換できる学校」「積極性の高い北条中にする」「全校が自然に笑顔になれる学校」「あいさつを通して、全校が仲良くできる学校にする」「「全力応援」誰も置いていかない応援団を作ります」と書かれていました。候補者一人一人が、北条中のこと、北条中のあるべき姿について、たくさん考えて、悩んだ末にたどり着いた言葉だと思います。選挙によって、役員は決まりましたが、候補者全員の思いが詰まった令和6年度玲瓏会が進んでいくことを願っています。



令和6年度 北条中学校玲瓏会役員 (敬称略)

会 長  
副 会 長  
応援団長

(届け出順)

### <活躍の軌跡>

- 吹奏楽部 アンサンブルコンテスト（12/10 上越文化会館） 金賞
- 中学生の税についての作文 柏崎地区納税貯蓄組合連合会長賞  
3年 『わたしたちの生活を支える税金』
- 全国中学生人権作文コンテスト 柏崎地区大会入賞  
1年 『偏見、差別のない世界へ』

## 1年間の様々な支援ありがとうございました

学校は、4月始まりの年度で活動のサイクルが回っていますが、12月終わりの1年も一つの区切りです。自然現象では暑く雨が降らない夏、スポーツ界では様々な選手、チームの活躍、世界の社会情勢では各地区での戦闘など、うれしいニュースも悲しいニュースもたくさんあった令和5年でした。

学校だより「芳風」を配付する日程の関係で、保護者の皆様には1年の締めくくりの感謝、地域の皆様には、新しい令和6年のますますの繁栄を願いつつ、旧年中の感謝の気持ちを届けたい今号です。今後も様々な形で、北条中学校に期待する思いを学校にお寄せいただきたくお願いいたします。

## 1月の主な予定

月	火	水	木	金	土	日
1 閉庁	2 閉庁	3 閉庁	4	5	6	7
8 成人の日	9 休業後集会 確認テスト	10 発育測定3年 専門委員会	11 発育測定2年 心のアンケート	12 発育測定1年	13	14
15 単元テスト週間 教育相談 預り金引き落とし日	16	17 新入生保護者 説明会	18 生徒朝会	19 英語検定1次	20	21
22 預り金引き落とし予備日	23	24 スクールカウ ンセラー来校日	25	26 6年生体験 入学	27	28
29 生徒朝会 専門委員会 3年進路面談	30 3年進路面談	31	2/1 PTA役員会	2 にいがた学び チャレンジ 学校評議員会	3	4

### ◆ リスペクト アザース - 25人の感想届く - ◆

12月8日(金)に行った全校朝会では、「リスペクト アザース」「アンコンシャス・バイアス」という2つの言葉を紹介しました。前者は「アザース」と濁点が付いた表現、また、後者は、アンコンシャスバイアスと「・」を使わない表現も見受けられます。いずれにせよ、「他人を尊重する」、「無意識の偏見、思い込み」などと訳されます。それぞれの内容は、様々な方法で調べることができます。

法務省と全国人権擁護委員連合会が主催の「全国中学生人権作文コンテスト」があります。令和5年度は第42回のコンテストでした。このコンテストの第32回の際に、神奈川県の中学生在が書いた「リスペクト アザース」という作文があります。朝会で、紹介し印刷物を配布しました。12月10日(日)が人権デーなので、よかったら休日に読んで、感想を寄せてくださいと生徒の皆さんにお願いしました。

iPadでQRコードを読み取って回答できるようにし、想定した際、数人くらいから感想が届くかな、まさか、0人ということはないよな、などと考えていました。

朝会を行ったその日、8日の退勤前に試しにと思い、アンケートフォームのもとを開いてみました。すると、そこにはすでに25人分の感想が届いていました。

「作文を読んで、日本もアメリカのように respect others を大切にしたい方いいなと思った。また、CMを見て僕も偏見を持ってしまっていたので人権週間を通してリスペクトアザースを意識してみようと思った。」

「他の人を尊重し合い生活していけば、日本も「表面上」差別のない社会ではなくられるのではないかと思います。「誰か」のことではなくこの1週間だけでも「自分のこと」のように捉えていきたい。」

「リスペクトアザースという言葉があるかないかで関わり方が大きく変わると思った。日本でもリスペクトアザースが浸透してほしいという意見にも賛成できた。」

読み進めながら、驚きと感激で、胸が詰まる思いがしました。4月に北条中へ赴任し、体育祭や玲瓏祭、生徒会の各種活動、部活動の大会やコンクールなどで活躍し輝く北条中生の姿はたくさん見てきました。だけど、こんなに素直に応えてくれる中学生の存在に触れた出来事は、他の何にも代えがたい大きな感動でした。ありがとう。(校長 滝澤)